

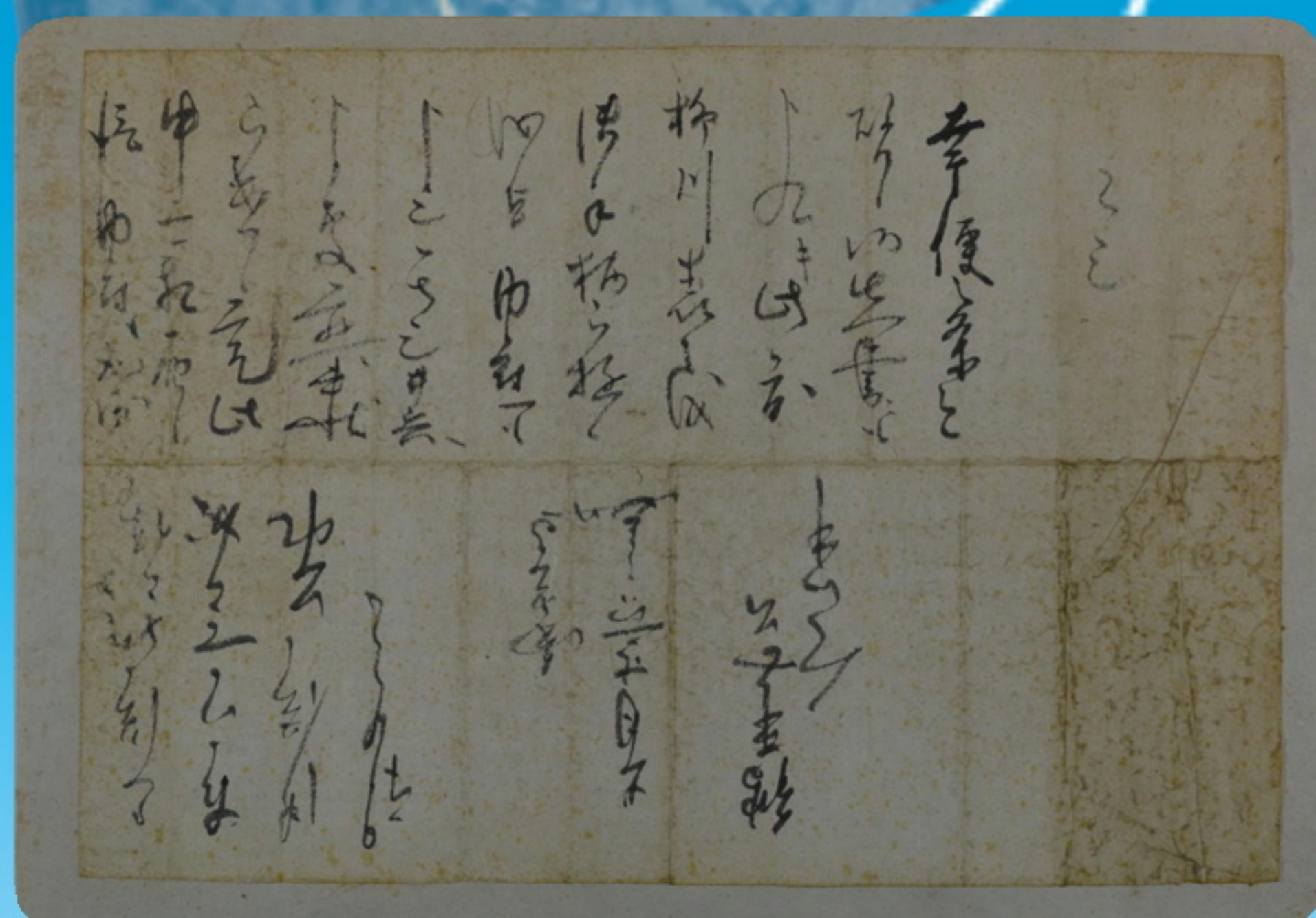
史跡足利学校企画展

# 徳川家康と 足利学校



2023年1月31日(火)～4月2日(日)

戦国時代末期...徳川家康のブレーンとして活躍した足利学校第9世席主・閑室元佶(三要)の事績を中心に、徳川家康と足利学校の関係について紹介します。



『閑室元佶書状』



『徳川家康と十六将図』

～学芸員によるギャラリートーク～

【日時】2月12日(日)・3月12日(日)

午前11時～午前11時30分

【定員】15名程度(事前申込不要・先着順)

【場所】足利学校遺蹟図書館(史跡足利学校内)

【参観時間】～3月:午前9時～午後4時30分

4月～:午前9時～午後5時

(受付は閉館の30分前まで)

【参観料】一般420円、高校生220円(団体割引あり)

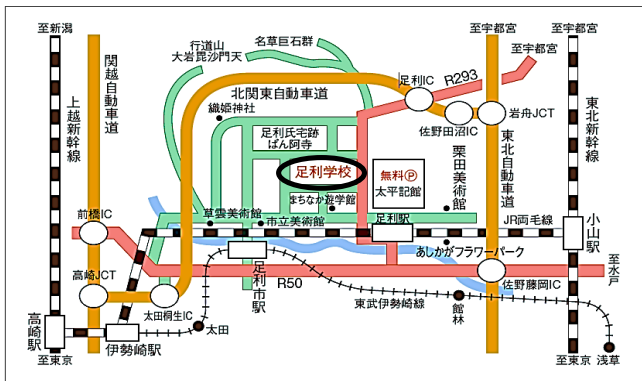
中学生以下無料

【休館日】2月15日(水)、3月15日(水)

【問合せ】史跡足利学校事務所  
〒326-0813 栃木県足利市昌平町2338番地  
TEL:0284-41-2661 FAX:0284-41-2082

# 展示リスト

資料名	作者等	年代	備考
わきざし ほていくにひる 脇指 布袋國廣(複製)	日向住国広	天正18(1590)年	原資料:重要美術品 (公財)足利市民文化財団蔵
かいざんかんしつだいおしょうしんぞう 開山閑室大和尚真像		17世紀初頭	写真パネル 原資料:重要文化財 瑞巖山圓光寺蔵(京都)
さんがくじ 三岳寺			写真パネル
いしがきやまいちやじょう 石垣山一夜城			写真パネル
らざんはやしせんせいしゅう 羅山林 先生集	林信勝(羅山)撰 林恕(鷲峯)編	寛文2(1662)年刊	
ぎゅうあん 牛庵	閑室元佶(三要)筆	文禄5(1596)年	
とくがわいえやす じゅうろしゅうず 徳川家康と十六将 図	作者不明	江戸時代	
がじかんがしよ 我自刊我書 とうしょうぐうごじつきふろく 東照宮 御実紀附録	甬喜山景雄編	明治13(1880) ~ 明治16(1883)年刊	
ぶとくへんねんしゅうせい 武徳編年集成	木村高敦編	天明6(1786)年刊	
しゅういみやこめいしよず え 拾遺都 名所図会	秋里舜福(籬島)撰 竹原信繁(春朝齋)画	天明7(1787)年刊	
さんしゅうめいせきし 山州 名跡志	白慧(坂内直頼)著	正徳元(1711)年刊	
けいちょうもっかつじ 慶長木活字		16世紀末	
けいちょうもっかつじ すりきつばん 慶長木活字と摺刷盤		16世紀末	写真パネル 原資料:重要文化財 瑞巖山圓光寺蔵(京都)
しちしよ 七書	閑室元佶(三要)校	寛永年間(1624~1645)刊	
とくがわいえもと いはい 徳川家基 位牌		江戸時代	
しょうぐんけねんざい ひか 将軍家年筮[控え]	実巖宗和筆	文化4(1807)年	写真パネル
あしかががっこうきろく 足利学校記録	千溪元泉筆	明和7(1770) ~ 安永3(1774)年刊	市指定重要文化財
かんしつげんきつしよじょう 閑室元佶書状	閑室元佶(三要)筆	慶長5(1600)年	
あしかががっこうしよじやくもくろく 足利学校書籍 目録		享和13(1728)年	市指定重要文化財
しもつけやしゅうがっこうらいゆき 下毛埜州 学校来由記	月江元澄編著	元文3(1738)年	



## 【アクセス】

電車 / 東武伊勢崎線 足利市駅から徒歩約15分  
 JR両毛線 足利駅から徒歩約10分  
 車 / 東北自動車道 佐野藤岡ICから40分  
 北関東自動車道 足利ICから15分



▲ 足利学校遺蹟図書館(史跡足利学校内)